# SGSサプライヤー行動規範

SGS.COM

# 目次


04

最高経営責任者からのメッセージ

06

SGS行動規範について

08

本規範の基盤となる5つの原則

15

参考文献

SGS
Techpro

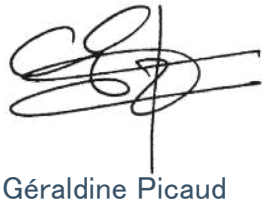
# 最高経営責任者からのメッセージ

サプライヤー各位

SGSは、バリューチェーン全体を通じて持続可能性を推進し、企業の持続可能性に関する実績について定期的かつ誠実な報告書を発行しています。

サプライヤーはSGSにとって重要なステークホルダーであり、当社は最高の社会的、経済的、環境的基準を達成するために継続的な対話に取り組むことに尽力しています。
本SGSサプライヤー行動規範（「規範」）は、当社の責任ある調達アプローチの基本を定めています。これは、SGSと取引を行う際にサプライヤーに遵守を求める交渉の余地のない最低基準を定義するだけでなく、SGS全体、そのさまざまな事業および関連会社全体で共有され、サプライヤーに遵守を奨励する価値観の表現も定義しています。

業界のリーダー企業として、当社はプロフェッショナルとしての行動、コンプライアンス、持続可能性の最高基準を自らに課しています。当社は、本規範が当社のサステナビリティアジェンダの実施を促進し、透明性と倫理性を備えた行動につながり、企業の持続可能性管理とリーダーシップにおけるSGSの信頼性を高めるものと信じています。



Géraldine Picaud
最高経営責任者（CEO）

SGS

# SGS行動規範について

## 目的

本規範には、SGSのビジネス原則に沿った5つの原則（プロフェッショナルとしての卓越性、人材、健康と安全、環境、コミュニティ）が規定されており、SGSの文化を形成してきた信念と行動が述べられています。

本規範に概説されている原則は、当社の従業員、事業全体の経営陣、および社外の利害関係者との協議の上、策定されたものです。また、国際的に認められたベストプラクティスの枠組みをベンチマークとしています。

当社の人権に対する取り組みは、国連の「世界人権宣言」、市民的及び政治的権利に関する国際規約、経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約、および国際労働機関の労働における権利に関する基本条約から成る国際人権章典に基づいています。当社は、経済協力開発機構（OECD）の多国籍企業ガイドラインを支持します。

これらの原則は、当社の包括的な重要性プロセスを通じて分析された、SGSにとって最も重要な持続可能性の問題を反映しています。

最後に、本規範は、サプライヤーが遵守することが期待されるプロフェッショナルとしての行動、コンプライアンス、持続可能性の最低基準を強調することを目的としています。

サプライヤーの行動規範は、当社のポリシーとSGS高潔性行動規範に基づいており、SGSの厳格な基準への準拠を保証するために正式に監視されています。

## 範囲と実施

### 適用範囲

SGS行動規範は、年間支出額が30,000スイスフラン（CHF）を超えるすべてのSGSサプライヤー（SGSに製品またはサービスを提供する個人または企業として定義）および当該関連会社に適用されます。ただし、本規範は以下には適用されません。

- 個人地主
- 認定および認証機関
- 政府機関、公的機関、税関税務当局、公的機関関係者
- 法律事務所
- パートナーシップ団体、トラスト団体、非営利団体およびボランティア団体

また、本規範はエネルギー会社および公益事業会社にも推奨されます。SGS高潔性行動規範は、請負業者や下請け業者、フリーランサー、臨時従業員などを含むがこれらに限定されない、SGSに代わって、またはSGSを代表するすべての従業員および第三者に適用されます。

SGSは、SGSサプライヤーが自社のサプライチェーン内で本規範の声明を推進することを強く奨励します。

### サプライヤーとの連携

SGSでは、サプライヤーとパートナーの間でベストプラクティスを推進しながら、安全で持続可能なサプライチェーンを確保することに尽力しています。そのため、当社は、すべてのサプライヤーに対し、本規範に記載されている原則に沿って行動することを求めます。

当社は財務リスクを厳重に監視する一方で、以下のツールを使用してサプライチェーンのコンプライアンスと持続可能性のリスク監視にも重点を置いています。

- サプライヤーとの契約前の検証：当社は、選定されたすべてのサプライヤーが当社の規範を遵守していることを確認します（または、SGSのコンプライアンスおよび持続可能性基準に関して同等の規範を提供します）。
- サプライヤーとの契約中の評価：当社では、サプライヤーまたはそのサプライチェーンがSGSに及ぼす可能性のある高いリスクを特定し、当該リスクを軽減するための措置を講じることを目的として、主要かつ最も戦略的なサプライヤーについて自己評価質問票を通じて評価を行います。

## 助言を求める

SGSでは、高潔さと職業倫理の問題をオープンに提起・議論できる文化に取り組んでいます。

本規範またはSGS高潔性行動規範の意味や特定の状況への適用について疑問がある場合、SGSサプライヤーはSGS高潔性ヘルプラインの利用が奨励されています。ヘルプラインでは、複数の言語で匿名で助言を求めるためのさまざまなオプションも提供されています。

## 問題を提起する

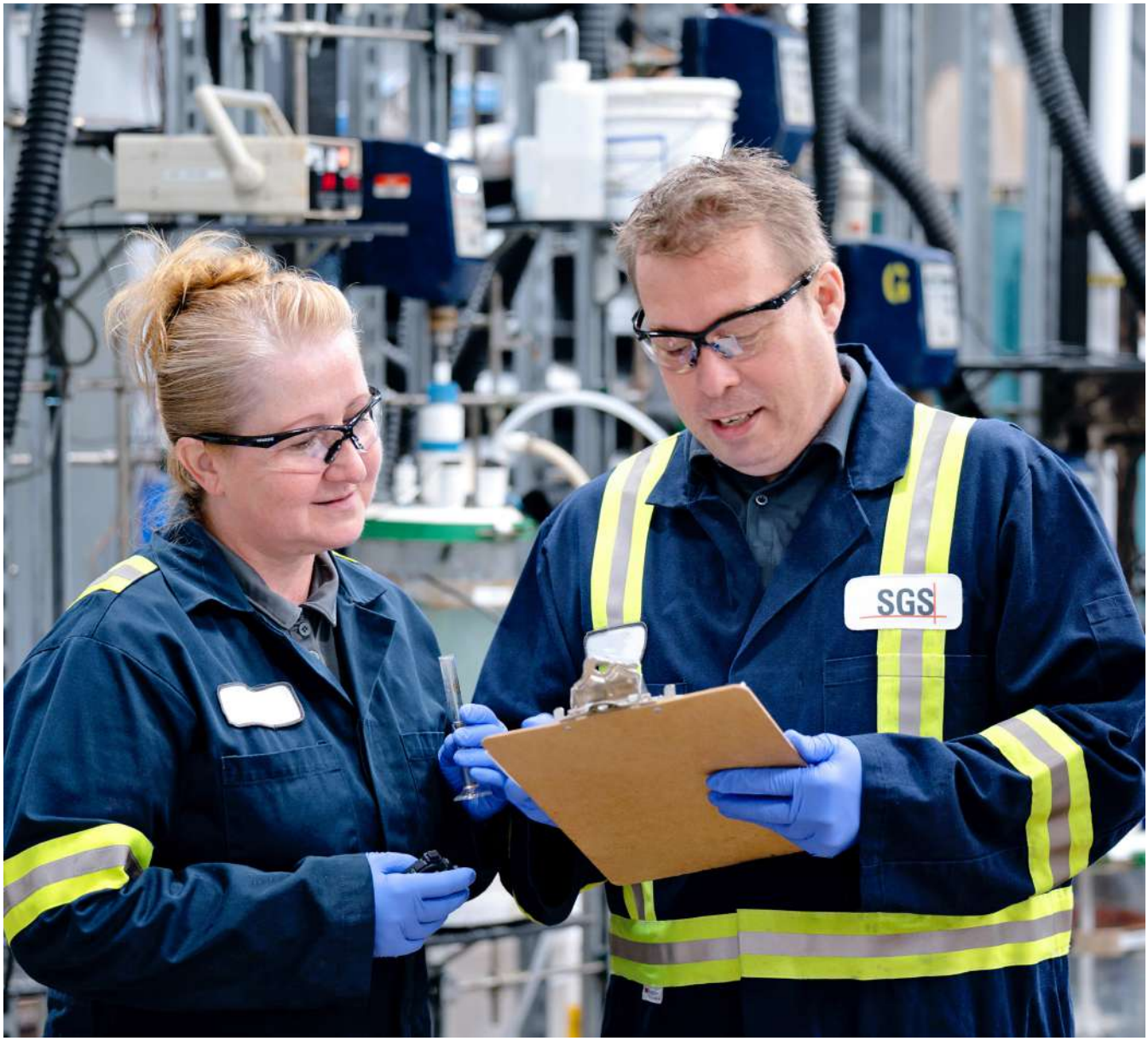
SGSサプライヤーは、SGSの代表者または第三者による本規範またはSGS高潔性行動規範の違反が疑われる場合や違反が判明した場合は、SGS高潔性ヘルプラインを使用して声を上げ、報告することが奨励されています。

ヘルプラインは複数言語で報告を提出するためのさまざまなオプションを提供する、安心安全なプラットフォームです。報告は匿名で提出できます。提供された情報は安全に保管され、最大限の機密性を保って取り扱われます。

## 報復禁止

SGSは、誠実に助言を求め、懸念を表明し、本規範またはSGS高潔性行動規範の違反を報告したサプライヤーに対してあらゆる形の報復や不利な扱いが生じないようにし、当該サプライヤーを保護します。

質問や助言を求める、あるいは懸念事項や高潔さに対する違反を報告する場合は、
http://integrityhelpline.sgs.com
にアクセスしてください。



# 本規範の基盤となる5つの原則

## プロフェッショナルとしての卓越性 – 高潔さの確保

SGSは、最高レベルのビジネス倫理、コンプライアンス、高潔性基準の遵守に努め、これを維持しています。

当社の評判とサービスに対する信頼は、何十年にもわたり、当社の価値観と原則を揺るぎなく守り続けてきたことによって築かれたものです。
そのため、当社は従業員、顧客、利害関係者に対して、当社が事業を展開するすべてのコミュニティにおいてこれらの基準と信頼を維持する責任を負っています。

したがって、当社は、サプライヤーにも当社の価値観と原則を尊重していただき、これらの基準と信頼の維持に協力していただくことを期待しています。

### 法律/規制の遵守

SGSサプライヤーは、事業を展開するすべての国において適用されるすべての国内法および国際法と規制を遵守する必要があります。これには、管轄権や貿易管理に関して適用されるすべての制裁制度の遵守が含まれます。

また、SGSはサプライヤーに対し、国際標準や業界標準、ベストプラクティスに準拠することを奨励しています。

SGSサプライヤーは、適切に承認された社内または社外の調査に全面的に協力する必要があり、証拠の改ざんや隠蔽、文書の破棄、誤解を招くような行為、または正当な調査の妨害を行ってはなりません。

### 汚職防止

SGSは、贈収賄や強要を含め、いかなる形態の汚職にも関与せず、またそれを容認しません。いかなる状況においても、SGSサプライヤーは、第三者の意思決定に影響を与えること、ビジネスを確保すること、または不正な利益や利益を確保することを目的として、直接的または間接的に、あらゆる種類の贈り物、接待、おもてなし、寄付、またはスポンサーシップを含むがこれらに限定されない金銭的利益またはその他の利益を支払ったり、提供したり、約束したり、汚職行為に関与したりしてはなりません。

同様に、SGSサプライヤーは、その意思決定に影響を与えること、ビジネスを確保すること、または不正な利益や利益を確保することを目的として、

直接的または間接的に、あらゆる種類の贈り物、接待、おもてなし、寄付、スポンサーシップを含むがこれらに限定されない金銭的利益またはその他の利益を要求したり、受領したり、受領することに同意したり、汚職行為に関与したりしてはなりません。

SGSとのビジネス関係に関連した便宜供与の支払いは禁止されており、関係者による便宜供与の支払いに関するあらゆる要求は拒否しなければなりません。

これらの原則に違反した場合、SGSとのビジネス関係は直ちに終了し、法的訴追や管轄当局への報告が行われる可能性もあります。

## 利害の対立

SGSとの取引において、サプライヤーはあらゆる利害の対立を回避する必要があります。サプライヤーが認識しているSGSとのビジネス取引におけるすべての利害の対立は、当社が適切な措置を講じる機会を得られるよう、当社に申告する必要があります。

## SGSに関連するビジネスおよび財務記録

すべてのビジネスおよび商業取引は、契約サプライヤーまたはその他の第三者の名前とともに記録され、監査や証拠へのアクセスの際には全面的な協力が期待されます。

## インサイダー取引

SGSサプライヤーは、SGSから委託された非公開の機密情報、またはSGSとのビジネス関係によりアクセスできる非公開の機密情報を、インサイダー取引に使用することを禁止されています。これには、非公開情報に関連するSGSまたはその他の第三者に関する株式、オプション、その他の有価証券の取引、当該情報の開示、または当該情報に基づく第三者への投資情報の提供が含まれます。

## マネーロンダリングと犯罪・テロ資金供与

SGSサプライヤーは、意図的か否かにかかわらず、マネーロンダリングやテロ資金供与またはその他の犯罪活動の促進によって自社の業務に悪影響が及ばないようにするための対策を実施することが求められます。

## データプライバシー

すべてのサプライヤーは、世界的な規制と業界のベストプラクティスに従って、プライバシーおよびデータ保護の最高水準を維持することが求められます。

サプライヤーは、現地法および国際法に従い、個人情報にアクセスできるSGSの従業員、請負業者、労働者、顧客、その他の個人のプライバシーを尊重することが求められます。

SGSサプライヤーは、適用される規制で義務付けられている国境を越えたデータ転送要件を遵守し、個人情報のセキュリティを確保し、個人データの分類と取り扱いに関する適切な管理システム、および制御と報告メカニズムを使用するものとします。

## SGSの資産、資源、資金の保護

サプライヤーには、SGSが委託したすべての資産、資源、資金の保護がSGSに属するか他の第三者に属するかに関係なく、それらを保護し、適切に使用する義務があります。

これらは決して不適切に使用したり、違法または非倫理的な利益のために使用してはなりません。これには、尊重されなければならない知的財産によって保護されているあらゆる情報、文書、または資産が含まれます。いかなる場合でも盗作は認められません。

サプライヤーは委託された資産および資源の機密性を維持し、SGSによる適切な許可なしに、または適切なセキュリティ対策なしに情報を開示または転送してはなりません。

## 倫理的なビジネス行動

SGSは、サプライヤーが自社の業務とサプライチェーンに適用できる包括的な行動規範を策定することを強く推奨します。

## 公正な競争

SGSサプライヤーは、競合他社に負けない公正なマーケティング慣行でビジネスを行うものとします。

市場の状況に不当に影響を与えたり不当な市場優位性を獲得するために、直接的または間接的に第三者と共謀したり、商品やサービスを欺瞞的または誤解を招くような方法で販売したり、違法または非倫理的な手段を使用して機密情報を入手したりするなどの非倫理的な行為は常に回避しなければなりません。当該原則に従わない場合、SGSとのビジネス関係は直ちに終了し、法的訴追や管轄当局への報告が行われる可能性もあります。

# 人材

SGSは人権の保護を支持し、尊重します。当社は、事業活動による直接的および間接的な人権への影響を継続的に評価し、国連「ビジネスと人権に関する指導原則（UNGPs）」の下での責任を認識するよう努めています。

また、当社は安心安全な職場環境を提供し、従業員の健康と福祉を促進します。当社では、従業員が職務を安全に遂行するために必要なトレーニングと設備を確保しています。

したがって、当社はサプライヤーに対し、従業員、地域社会やマイノリティ（社会的少数者）、サプライヤー、その他の利害関係者など、関わりを持つすべての人の尊厳と人権を尊重することを求めます。

さらに、土地、森林、水の保護についても尊重されなければなりません。

また、当社はサプライヤーに対し、自社の組織内および提供する製品やサービスに関して、できれば国際基準に準拠した健康と安全に対する配慮義務を遵守することを求めます。

## 強制労働と人身売買の防止

すべての労働は自発的なものでなければならず、労働者は現地の法律に従って自由に仕事を辞めたり予告期間を定めて雇用を終了したりできなければなりません。SGSサプライヤーは、人身売買や、いかなる形態の奴隷労働、強制労働、債務労働、年季奉公労働、囚人労働も行いません。生命権の侵害、拷問、残虐/非人道的または品位を傷つける扱いは許可されません。この声明はサプライヤーの第三者機関と共有され、遵守される必要があります。

## 多様性の推進と差別の回避

SGSサプライヤーは、ハラスメント（嫌がらせ）や違法な差別のない労働力の確保に尽力する必要があります。

サプライヤーは、年齢、障害、民族、家族の状況、性同一性、思想的見解、婚姻状況、国籍、政治的所属、妊娠、宗教、性的指向、社会的出身、その他法律で保護されている地位に基づく差別を行わないものとします。

## 未成年者労働の防止と若年労働者の保護

児童労働は固く禁止されています。就労または労働の最低年齢は、16歳、その国の就労最低年齢、またはその国の義務教育修了年齢のいずれか高い年齢とします。若年労働者（法定最低年齢以上）を雇用する場合、精神的、身体的、社会的、道徳的に危険または有害な活動、または学校教育や法律教育を受ける権利を妨げる可能性のある活動に従事させてはなりません。

## 公正な賃金

SGSサプライヤーは、すべての労働者に、適用される法律および規制で要求される最低賃金以上を支払い、すべての法的給付を提供する必要があります。
報酬を含むすべての雇用条件、労働時間、休暇、休職期間、休日は、適用される法律/規制、業界の必須基準のいずれか最も厳しい基準に準拠する必要があります。

## 公正な処遇

身体的虐待や懲罰、身体的虐待の脅威、セクシャル(性的)またはその他のハラスメント(嫌がらせ)、言葉による虐待やその他の脅迫行為は禁止されています。懲戒処分は公正なものとし、労働者に明確に伝えられる必要があります。すべての労働者は、サプライヤーが設けた、この点に関する違反を匿名で報告するための仕組みを利用できる必要があります。

## 勤務時間

いかなる状況においても、労働週数は適用される法律/規制で許可されている最大労働時間を超えてはなりません。週の労働時間には、法令に基づく休憩時間も含まれるものとします。

## 結社および団体交渉の自由

SGSサプライヤーは、事業を展開する国の法律に従って、従業員が自由に結社し、組織化し、団体交渉する権利を認め、尊重するものとします。

# 健康と安全

## 労働災害防止

SGSサプライヤーは、潜在的な危険性を特定し、誰が被害を受ける可能性があるかについて評価し、リスクを評価し、緩和措置を講じるものとします。サプライヤーは可能な限り物理的な危険を排除するものとします。いかなる場合でも、サプライヤーは労働者に適切な個人用防護具を無料で提供するものとします。SGSはサプライヤーに対し、すべての労働者に健康と安全に関するトレーニングを提供することを奨励しています。労働者は安全上の懸念を表明したことを理由に懲戒処分を受けるべきではなく、報復を恐れることなく危険な労働条件を拒否する権利を有するものとします。

## 労働条件

業界のサプライヤーが活動する市場における最高水準を維持しながら、安全で衛生的かつ適切な作業環境を提供するものとします。合理的に実行可能な限り、作業環境に内在する危険の原因を最小限に抑えることにより、作業から生じる、作業に関連する、または作業の過程で発生する事故や健康被害を防止するために適切な措置が講じられるものとします。

## 労働安全手順とシステム、および危険物質への暴露の防止

SGSサプライヤーは、職業上の傷害および疾病を管理、追跡、報告するための手順とシステムを確立する必要があります。SGSは、サプライヤーが国際基準とベストプラクティスに準拠した独自の健康と安全に関するポリシーと管理システムを所有することを期待しています。

サプライヤーは、危険な化学物質、生物物質、物理的物質への労働者の暴露を特定、評価、管理し、それらの安全な取り扱い、移動、保管、リサイクル、再利用、廃棄を確保するものとします。サプライヤーは可能な限り化学的危険性を排除する必要があります。サプライヤーは労働者に適切な個人用防護具を無償で提供するものとします。

# 環境

SGSは環境保護に取り組んでいます。当社は天然資源を効率的に利用し、無駄を最小限に抑えます。

当社は、事業の成長と環境への影響の改善は並行して達成されるべきものであると考えています。気候変動に適応する当社の準備により、ビジネスの持続可能性が確保されます。その結果、当社はエネルギー消費を最小限に抑え、炭素強度を削減し、新しい技術に投資しています。このため、当社は、サプライヤーが環境パフォーマンスを改善することで事業の影響を管理しながら持続可能な成長を達成することを期待しています。
また、当社ではサプライヤーに対し、業界の最高水準に従った環境ポリシーを策定し、当該ポリシーを自社のサプライチェーンと共有するよう奨励しています。

## 環境管理システム

当社は、環境に影響を与えるすべてのSGSサプライヤーに対し、空気の質、土壌の質、エネルギー、水質と消費、廃棄物、責任ある化学物質管理など、環境面を管理するための構造化された体系的なアプローチを採用することを期待しています。当社では、サプライヤーに対し、できれば国際的に認められた基準で認証された独自の環境管理システムを導入することを奨励しています。

## 動物福祉/保護

当社はSGSサプライヤーに対し、それぞれの動物種の自然なニーズを満たすために、動物保護および動物福祉基準に関する適用法に準拠することを期待しています。

## 少ない労力でより多くの成果を上げる

当社はSGSサプライヤーに対し、汚染を防止し、ビジネス活動による廃棄物、水廃棄物、および大気排出に関連する環境影響の発生を最小限に抑えることを期待しています。
当社はサプライヤーに対し、代替材料の使用、再利用とリサイクル、森林破壊防止、騒音低減など、生物多様性の保全のために積極的に行動することを期待しています。SGSはサプライヤーに対し、独自の廃棄物管理システムを所有し、適用される法律/規制に従って廃棄物を管理することを期待しています。

## カーボンフリーの未来への投資

SGSはエネルギー消費、温室効果ガス排出量、炭素強度の削減を推進しており、サプライヤーが新技術への投資や天然資源の消費の最適化を通じて具体的な行動でカーボンフリーの(炭素のない)未来に貢献することを期待しています。

## コミュニティ（地域社会）

SGSは、地域での雇用を提供し、従業員が地域のプロジェクトに参加することを奨励することで、持続可能なコミュニティの構築に貢献しています。

当社は、自然災害や人災の被災者の緊急のニーズに応えることに尽力しています。当社は、すべての人が食糧、健康、教育、住居、事業にアクセスする基本的な権利を持っていると信じています。当社は地域への投資を通じて、当社が事業を展開するコミュニティの福祉に貢献しています。

このため、当社はサプライヤーに対し、サプライヤーが生活し、サービスを提供するコミュニティの福祉を向上させるために、地方自治体やコミュニティと提携することを奨励しています。

### 地域社会のエンパワーメントと開発

SGSサプライヤーには、地元の優秀な人材を引き付け、地元経済に貢献する関係を構築することが奨励されています。

### コミュニティの生活環境の改善

SGSサプライヤーには、社会経済の発展を促進し、サプライヤーが事業を展開するコミュニティの持続可能性に貢献するために、コミュニティと関わることが奨励されています。

# 参考文献

SGSは、本規範を作成するにあたり、以下の参考文献を参照しました。

- Responsible Business Alliance（RBA）行動規範
  https://www.responsiblebusiness.org/code-of-conduct/
- ILO Codes of Practice in Safety and Health（ILO安全衛生実施規範）
  https://www.ilo.org/topics/safety-and-health-work
- ILO International Labour Standards（ILO国際労働基準）
  www.ilo.org/public/english/standards/norm/whatare/fundam/index.htm
- ISO 26000
  ISO 14001
  ISO 45001
  www.iso.org
- OECD Guidelines for Multinational Enterprises（OECD多国籍企業ガイドライン）
  www.oecd.org
- United Nations Convention Against Corruption（国連腐敗防止条約）
  www.unodc.org/unodc/en/corruption/index.html?ref=menuside8
- United Nations Global Compact（国連グローバルコンパクト）
  www.unglobalcompact.org
- United Nations Guiding Principles on Business and Human Rights（国連ビジネスと人権に関する指導原則）
  http://www.ohchr.org/Documents/Publications/GuidingPrinciplesBusinessHR_EN.pdf
- Universal Declaration of Human Rights（世界人権宣言）
  https://www.un.org/en/about-us/universal-declaration-of-human-rights
- SGS Sustainability Approach（SGSサステナビリティアプローチ）

  https://www.sgs.com/en/sustainability/corporate-sustainability
- SGS高潔性行動規範
  https://www.sgs.com/en/our-company/compliance-and-integrity/code-of-integrity

# When you need to be sure

© SGS Société Générale de Surveillance SA (2026) | 2026年発行

SGS Société Générale de Surveillance SA
Zugerstrasse 57
6340 Baar
Switzerland

**sgs.com**